平成２５年度　小布施中学校グランドデザイン

学校教育目標
「夢・忍耐・思いやり」
１　自分の夢をもち、その実現に向かって努力できる生徒
２　自分のわがままをおさえ、正しい判断のできる生徒
３　人のいたみが分かり、思いやりの心をもてる生徒

〈学校経営のビジョン〉
誰もが安心して学べる
学級・学校づくり

〈子どもの実態〉
素直で純朴。団結して取り組もうという意識は強く学級・生徒会等での取り組みは積極的である。
ややなれ合い的な雰囲気があり、人間関係が固定的な面がある。

〈学校を取り巻く環境〉
・合併協議に参加せず、県内で最小の町として、「栗と北斎と花の町」の魅力的な町づくりを官民一体となってすすめている。
・一町に小、中学校一校の利点を生かし、小中一貫（連携）教育への道を歩み出した。
・豊かな自然と古くから開けた文化の歴史があり、教育資源や教育力に恵まれている。
・交流の町「産み、育てやすい町」

運営の基本方針
だれもが安心して学べる学級・学校づくり
（体罰の撲滅）

誰もが 安心して学べる 授業づくり	誰もが 安心して暮らせる 学級づくり	誰もが 安心して生活できる 学校づくり
学び合い	認め合い	響き合い
☆基礎的基本的な知識技能の習得学習と、それらを活用した探究学習の充実 ☆生徒同士の「学び合い学習」を導入した授業への改善 ☆「ねらい」「めりはり」「みとどけ」の学習過程を明確にした授業展開 ☆小中連携による学力向上事業への取り組み ☆朝読書の継続（平成１４年度から実施）	☆望ましい人間関係づくりの推進 ☆問題の早期発見と初期対応 ☆支援シートによる全職員の共通理解と複数職員による具体的支援 ☆家庭・関係機関との連携 ☆地域と連携した人権同和教育の推進 ☆生徒同士の認め合いの場の確保 ◇短学活 ◇発表会	☆生徒の具体的活動の継承 ◇清掃 ◇合唱 ◇花づくり ☆物的環境づくりと環境保護 ◇エコ活動 ◇ＣＧ計画等 ☆地域と連携した（響き合う）学校づくり ◇地域の教育力導入　部活・選択教科・特活等 ◇地域行事への参加 ◇ボランティア活動 ◇情報の発信 ☆幼保小中連携教育の推進

※　幼保小中連携による「小布施っ子プロジェクト」の実施

〈教科指導の重点〉
国語…友と支え合いながら表現活動に意欲的に取り組む指導
社会…自らの疑問に基づいて課題を設定し解決する力を育む指導
数学…根拠を持って自分の考えを説明できる力をつける指導
理科…自然を主体的に探求するための素材の教材化と学習過程のあり方
音楽…一人ひとりが楽曲に対するイメージをもって表現できる指導
美術…自己を問い返し表現主題に迫るための指導
保健体育…友と支え合って技能を高め運動の楽しさを深めていく指導
技術・家庭科…自ら課題をもって仕事の楽しさや完成の喜びの味わえる指導
英語…英語を通して自己表現力を高める指導

〈総合的な学習の時間重点〉
「鳳凰」を、夢・希望・探す学習の中で、自ら課題を見つけ、学び、考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力、いわゆる「生きる力」を育むことを目指す。

１年：小布施町（地域）を知る
２年：小布施の町づくりの歴史を知る
３年：これからの町づくりを考える

本年度の重点目標
①　授業の充実（学び合い学習）　⇒　学び合い
②　思いやりの育成（人権教育）　⇒　認め合い
③　ルールの定着（生徒指導・生徒会）⇒　響き合い

道徳教育の重点
①礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動ができる生徒
②願いを持ち、その実現に向かって粘り強くやり抜く生徒
③善悪を自ら判断し誠実に実行し結果に責任を持つことができる生徒
④他の人に対し、感謝と思いやりの心を持った生徒

特別活動の重点
集団活動を通して、仲間との関係を作ったり集団における個のあり方を学んだりしながら、自己決定できる生徒を育成する

特別支援教育の重点
子どもや保護者の願いをもとに、個々の生徒に応じた適切な教育課程を編成し、その子の可能性を最大限に伸ばし、その子なりの社会自立を目指す指導

人権同和教育の重点
①自他の差別を見抜ける指導
②差別や偏見に憤りを持てる指導
③人権同和問題を自分のこととしてとらえられる指導
④支え合い協力して問題を解決する指導
⑤自分なりの考えを言葉や文章で表現できる指導

生徒指導の重点
生徒理解を深め、生徒との信頼関係を形成することによって、社会生活において健全な生活を送るとともに、自己実現を目指す生徒の育成

進路指導の重点
高校選択のみに偏らず、将来の夢に基づいて、３カ年を見通した発展的継続的な指導を、生徒・保護者・学校が一体となって行う。

計　画
誰もが安心して学べる学級・学校づくり

実　践
①学び合い学習の導入
・グループ学習や、ペア・トリオ学習
①学力定着ドリルの実施
・授業開始時の復習ドリルを定着
①学習ルールの定着
・授業の約束の再検討と定着
①家庭学習の習慣化について
・授業と関係づけた提出ノート
①学習相談日の実施
・テスト前に学習相談の時間を設ける
②総合的な学習の時間の充実
・地域の方々と関わり合いコミュニケーションを深める、地域学習（１年）、職場体験学習、町づくりの歴史（２年）、福祉体験学習、これからのまちづくり（３年）
②生徒会活動の自治と奉仕
・全校討論会の実施により思いを伝え認め合う場の設定
・年間通した奉仕活動の継続
②道徳教育の充実と生徒同士の認め合い
・研究の方向について共有、認め合いの場
③オリエンテーション月間の充実と定着
・生徒会運営の活動として実施定着させる先輩から後輩への自治的活動を大切にする
・振り返りの場面を節目に設定し、「生活を振り返る週間」の実施により定着させる
③スプリングスクールの充実
・オリエンテーションの検討
・人間関係をつくり体験学習の実施と継続

評　価
１　授業評価
（１）授業研究会
（２）教科内授業・学年内授業
（３）生徒によるアンケート評価

２　学校評価
（１）学校評議員による学校評価
（２）職員による学校自己評価
（３）保護者によるアンケート

３　保護者・地域住民の声
（１）学級・学年懇談会
（２）電話・手紙等による地域の方の声

改　善
１　ルールの定着について
・オリエンテーション月間を充実させる
・スプリングスクールを充実させる
・生活を振り返る場の設定をする

２　思いやりの育成について
・総合的な学習の時間を充実させる
・生徒会活動の自治・奉仕を充実させる
・道徳教育を充実させる
・生徒同士の認め合いの場を確保する

３　授業の充実について
・授業前復習ドリルを実施し定着させる
・学習ルールの定着指導を行う
・授業と関連づけた家庭学習の習慣化を図る
・学習相談日の設定と実施

４「部活動・社会教育運営委員会」の設置と運営